

芦屋市立美術博物館

2025 年（令和 7 年） 事業計画書 概要

（指定管理者）

小学館集英社プロダクション共同体

1. 芦屋市立美術博物館運営基本方針

美術博物館の設置目的・使命に基づいて、下記の項目に沿った管理運営を行います。

【設置目的】

美術及び歴史に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の利用に供し、その教養の向上を図り、もって市民文化に寄与することを目的とする。

【使命】

- (1) 美術部門と博物部門の共存
- (2) 芦屋ゆかりの美術作品・歴史資料等の継承
- (3) 市民参画・協働の促進
- (4) 子どもへの教育
- (5) 学習機会の提供

2. 個人情報保護・安全管理対策・職員の研修

3. 地域、市民との連携

- ①アンケート調査に基づく顧客満足度の向上
- ②博物館実習の受け入れ
2024 年度参加校； 甲南大学・奈良大学・京都精華大学・大手前大学・京都美術工芸大学・近畿大学・関西学院大学・同志社大学 合計 11 名。
- ③中学生の職業体験（トライやる・ウィーク）
神戸市立原田中学校・兵庫県立芦屋国際中等教育学校等・芦屋市立中学校
- ④館だよりの発行
毎年年度末に発行。

4. 館蔵品の調査・研究

館の収蔵品の状況把握と適切な管理のため、市と相談の上、収蔵品台帳の整備を引き続き行い、開館以来の未整理資料の管理改善、かつ運営上最善な収蔵管理体制を構築するための方法も市と相談の上、共通の達成目標を達成すべく努力します。

5. 展覧会予定（別紙）

6. 教育普及事業

「芦屋市立美術博物館」基本方針」で示されている「学習機会の提供」という使命に則り、幅広い世代に美術・歴史等に触れることのできる機会を提供します。

また、展覧会に連動した講演会やワークショップ等を盛り込み、芸術文化事業に対する理解を深めていただく機会を提供します。

7. 文化ゾーン3館連携イベント 「niwa-doku」の実施

芦屋市図書館・谷崎潤一郎記念館・芦屋市立美術博物館の連携ため、毎年秋に実施。

谷崎館、美術博物館の庭で、本に触れていただく企画。読み聞かせ、本の交換会等を実施。

8. 自主事業（ART MARKET あしやつくるば）

手作り品の販売やワークショップ、美味しい食べ物や古書の販売など、ジャンルを超えた様々な交流や体験を通じて、大人も子どもも楽しい時間を過ごすイベントです。

その結果、芦屋市立美術博物館を通じ、市民だけでなく、幅広い世代・地域を問わない交流の場となり、当館をより身近な存在となることを目指します。

2025 実施予定 【春】5/10(土)、5/11(日) 【秋】10月実施予定

9. 富砕花資料について

美術博物館に収蔵されている富田砕花に関する各種資料を用いて富田砕花旧居で年間を通じて展示を行い、年1回程度展示替えを行います。